

# 半数の女性が悩む “ショーツの締め付け” 現役女子大生が解決。

デリケートゾーンへの締め付け感ゼロ  
“おかえり”ショーツでカラダを想うおうち時間を



## 国際女性デーより販売開始

この度、「女性の違和感をカタチにする」をテーマに事業を展開する、現役女子大生率いる平均年齢 20 歳のプロジェクト「I for ME」が、2021 年 3 月 8 日（国際女性デー）より、デリケートゾーンの蒸れ・かゆみの悩みに応えた、これ 1 枚で履ける部屋着型ショーツの“おかえり”ショーツの販売を開始しました。

## ショーツのタブーを乗り越えて

実施の経緯は、社会において認識されている女性の下着に対する「綺麗」「美しい」などの肯定的なイメージと、実際の使用における「窮屈」「痛い」「蒸れる」といった負担や悩みとのギャップを埋めたいと願う私たちの思いにあります。本商品は、2020 年 10 月にクラウドファンディングでの資金調達成功を経て商品化されました。

今の下着がカラダに  
合っていない

47%

周囲の人と  
下着の話をしない

83%

からだにいいこと社との合同調査の結果、約 300 人中 47%の女性が「今の下着がカラダに合っていないと感じる」と回答。各年代、サイズ感に悩んでいるという割合が最も高く、次に 20~30 代の女性は締め付け感に不満がありました。同時に 83%の女性が「周囲の人と下着の話をしない」と回答。下着の話に対するタブー感を減らすための取り組みも行っています。

### 【“おかえり”ショーツ 関連 URL】

EC サイト：<https://i-for.me/pages/message>

クラファン：<https://camp-fire.jp/projects/view/324380>

### <プロジェクト概要>

Website: <https://i-for.me/pages/message>

TEL: 080-4342-1954

Email: [i.forme.shop@gmail.com](mailto:i.forme.shop@gmail.com)

# 代表者プロフィール



## 江連千佳（Ellen）

### 【経歴】

現・津田塾大学総合政策学部2年生。

17歳でニュージーランドに留学。現地高校の性教育に衝撃を受ける。

18歳の頃、子宮内膜症・腺筋症が発覚し、妊娠が困難であると診断されて以来女性のヘルスケアの話題がタブー視されていることに問題意識を持つ。その後、女性のカラダに関する悩みを解決すべく、デリケートゾーンに優しい部屋着型ショーツの“おかえり”ショーツ開発を決意。自身の経験を元にした、女性の悩みに寄り添う情報発信は若い女性を中心としたZ世代に反響を呼び、Twitterのフォロワー数は半年で4000人を突破した。

### 【受賞歴】

Tokyo Startup Gateway2020 ファイナリスト

2017年度『キャリア甲子園』視聴者賞受賞

### 【メディア実績】

NHK 時論公論 クエスチョン・タイム出演

朝日新聞「いま子どもたちは」掲載

テレビ東京 Tokyo Startup Degawa 出演

BS12「夢らぼ」出演